

「知的障がいのある児童生徒のための各教科の指導の充実」
～特別支援学校の各教科（国語科編）～ 実施要項

- 1 目的 学習指導要領についての理解を深め、知的障がいのある児童生徒のための各教科の指導の充実に向けて指導と評価の在り方を探り、教材・教具の工夫を含め、実践力の向上を図る。
 <県指標項目>特に向上を目指す資質・能力（3本県課題、5指導方法、6状況把握、10特別支援）

- 2 主催 福島県特別支援教育センター
 及び 〒963-8041 郡山市富田町字上ノ台4-1
 会場 電話 024(952)6497 FAX 024(952)6599

- 3 期日 令和3年8月27日（金） 9：30 ～ 16：00

- 4 参加者 小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の教員

5 日程

9:15	9:30	9:45	10:45	11:00	12:00	13:00	15:45	16:00
受付	開講式	講義1・演習	休憩	講義2・演習	昼食・休憩	協議 (適宜休憩)		閉講式

6 研修内容

- (1) 講義1・演習 「知的障がいのある児童生徒の学習上の特性と教育的対応」
 福島県特別支援教育センター 指導主事
- (2) 講義2・演習 「特別支援学校の各教科の授業づくり～国語科編～」
 福島県特別支援教育センター 指導主事
- (3) 協議 「国語科の指導の実際」
 福島県特別支援教育センター 指導主事

7 持参資料

- (1) 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（H29）又は特別支援学校高等部学習指導要領（H31）
 (2) 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（H30）又は
 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（高等部）（R2）
 (3) 年間指導計画（国語科又は各教科等を合わせた指導）

8 提出資料

協議資料「国語科の指導の実際」を別紙様式にて作成し、7月30日（金）午後5時まで
 に下記メールアドレスへ送信すること。その際、ファイル名は以下のとおりとすること。

・ファイル名：〇〇学校（知的の各教科）

福島県特別支援教育センターメールアドレス：special-center@fcs.ed.jp

9 その他

- (1) この講座は、特別支援学校学習指導要領に示される「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」の内容を取り扱う。
- (2) 特別支援教育の充実を図るため、提出のあった協議資料は、学校や個人が特定できないよう一部修正し、当センターWebサイトに掲載することがある。本センターへの資料提出により、そのことの承諾を得たものとする。なお、承諾しない場合は本センターに申し出ること。
- (3) 別紙「研修にあたって」「駐車場案内」を確認の上、受講すること。
- (4) 昼食については、各自持参すること。
- (5) 受講に際し合理的配慮の提供を希望する場合は、「研修における配慮申請書」（様式6）を受講日の一ヶ月前までに提出すること。なお、申請内容によっては、協議を行い合意形成を図った上で決定するものとする。
 なお、様式による意思の表明が困難な場合は、その他の方法による申請も可とする。

(別紙様式)

令和3年度 福島県特別支援教育センター 専門研修講座 特別支援教育実践力アップⅡ 協議資料
「知的障がいのある児童生徒のための各教科の指導の充実 ～特別支援学校の各教科(国語科編)～」

「国語科の指導の実際」

学校名 ○○立○○○学校

氏名 ○ ○ ○ ○

実施年度	
学校・学級・学年	
学級の実態	
※国語科に関するものを中心に	
教科名 (学部、段階) ※学習指導要領での記載	
単元・題材名	
指導目標 (国語科)	
指導計画	
使用した教材	
指導の実際	

7月30日(金) 午後5時までに、下記のメールアドレスへ送信してください。

福島県特別支援教育センターメールアドレス : special-center@fcs.ed.jp

(別紙様式)

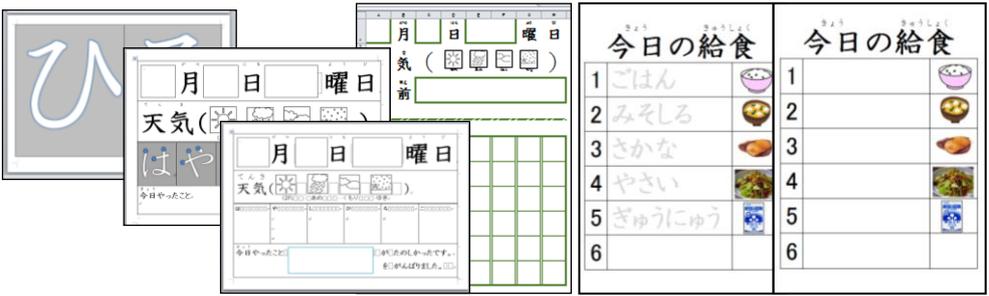
令和3年度 福島県特別支援教育センター 専門研修講座 特別支援教育実践力アップⅡ 協議資料
「知的障がいのある児童生徒のための各教科の指導の充実 ～特別支援学校の各教科(国語科編)～」

「国語科の指導の実際」

記入例

学校名 ○○立○○○学校

氏名 ○ ○ ○ ○

実施年度	令和3年度
学校・学級・学年	特別支援学校(小学部)・通常の学級・第4学年
学級の実態	<p>・身近な人からの話し掛けを聞いたり、真似をした表現したりする姿がある。</p> <p>※国語科に関するものを中心に ・自分の名前やものの名前など日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしたり、写し書きやなぞり書きなどで書き表そうとしたりする姿がある。</p>
教科名 (学部、段階) ※学習指導要領での記載	<p>国語科(小学部/2段階) 〔知識・技能〕イ(ウ)④</p> <p>写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正勢など、書写の基本を身に付けること。 〔思考力、判断力、表現力等〕B 書くこと-イ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。</p>
単元・題材名	「今日やったこと」
指導目標	<p>(1) 筆記用具の正しい持ち方や文字の形を意識して、書くことができる。(知・技)</p> <p>(2) 日常生活でよく使われている決まった文字の組合せを考え、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりして表現しようとしている。(思・判・表)</p> <p>(3) 日常生活の中で使われている言葉が文字で表せることを知り、書こうとしている。(学びに向かう力)</p>
指導計画 (単元・題材)	<p>○通年(児童生徒の実態に応じて、少しずつ内容を発展させていく)</p> <p>・朝の活動・・・日付、曜日、天気、自分の名前、給食の献立を書く。</p> <p>・帰りの活動・・・教師と一緒に今日やったことを振り返り、楽しかったことやがんばったことを伝えたり、書いたりする。</p>
使用した教材	
指導の実際	<p>自分の名前や、毎日の給食の献立名など、児童にとって身近な言葉を取り上げ、年間を通して書くことに取り組んだ。教材は、児童の実態に応じて運筆の練習、なぞり書き、写し書きなどができるように作成している。また、見え方に困難さがある児童には文字の白黒を反転させたり、手先の動きに困難さがある児童に、文字を拡大したりして提示した。毎日継続して取り組んだことで、殴り書きからなぞり書きへ、なぞり書きから写し書きへ、写し書きから言葉を聞いて一人で書くことへと、書くことに親しみながら、それぞれの変容が見られた。</p>

授業にかかわる学級の実態を簡潔に書きます。

特別支援学校小・中学部学習指導要領(H29)を参考に記入してください。

配慮したこと、児童生徒の変容などを記入します。

7月30日(金) 午後5時までに、下記のメールアドレスへ送信してください。

福島県特別支援教育センターメールアドレス : special-center@fcs.ed.jp